

教科目名 **哲学特論 I (Special Lecture on Philosophy I)**

学科名・学年 : 全専攻 2 年

単位数など : 選択 2 単位 (前期 1 コマ, 学習保証時間 22.5 時間)

担当教官 : 堀 栄造

授業の概要

現代哲学の主潮流の一つを成すドイツの哲学者エドムント・フッサールの創始した現象学の学問的方法論である現象学的還元が、どのように着想され、どのような構造をもち、どのような意義をもつのかを学ぶ。前半は講義形式をとり、後半は著作講読を輪番制で行う。授業全般を通じて、質疑応答などを通して相互に発言し合う機会を多く設け、活発な議論の展開となるように努める。

到達目標

大分高専目標 (A1), JABEE 目標 (a)

- (1) 学問的方法論は学問にとって生命線とも言うべきものである。フッサールの現象学の学問的方法論の形成を学ぶことによって、学問にとっての方法論の意義や重要性を理解する。
- (2) フッサールの著作の講読によって哲学的文章を通して西洋的思考および西洋的文化に直接接し、地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。

回	授 業 項 目	内 容
1	フッサールの経歴と前期思想	○心理主義の克服と厳密な学について理解できる
2	フッサールの中期・後期思想	○本質直観, 形相的還元および超越論的還元について理解できる
3	『論理学研究』の意図	○心理学からイデア学への脱却について理解できる
4	『論理学研究』における還元	○『論理学研究』における還元の意味を理解できる
5	現象学的還元の着想	○内的時間意識の分析における現象学的反省や空想における反省について理解できる
6	現象学的反省の確立 I	○経験的統覚を完全に遮断した現象学的統覚やエポケーの着想について理解できる
7	現象学的反省の確立 II	○「顕在的現象と非顕在的現象」や「現象学的知覚と空想直観」について理解できる
8 ～ 9	フッサール著『現象学の理念』の講読	○認識論的還元の遂行, 一切の超越者の排去, 研究の主題, 純粹現象, 等について理解できる
10 ～ 13	フッサール著『純粹現象学および現象学的哲学の構想』の講読	○自然的定立の徹底的変更としての「遮断」や「括弧入れ」, 超越論的現象学的エポケー, 体験反省の現象学的研究, 等について理解できる
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	

--	--	--

履修上の注意	ノートをしっかり取り, 積極的に発言し, しっかり復習すること。
教科書	プリント配布。
参考図書	堀栄造著, 『フッサールの現象学的還元』, 晃洋書房, 2003年。
関連科目	哲学特論 II (専攻科 2 年後期), 哲学概説 (5 年前期), 思想史 (5 年後期), 倫理 (2 年通年)。
評価方法	定期試験により評価する。評価が 60 点以上を合格とする。

